

株式会社 アルシュ arche

arche Journal

アルシュ ジャーナル

目次：

キャンドルナイトレポート	1
住まいの“減築”って ご存知ですか？	2
キャンドルの灯りの 不思議な魅力	2
先人達の知恵 障子の世界も奥が深い！	3
賢い家づくりの タイミングは？	3
木の意外な強さ	3
几帳面ってどんな面？ 建築用語から生まれた言葉	4
お買い得情報	4
住まいのよろず相談室	4

住まいに関するあれもこれも・・・

いろいろなお役立ち情報をまとめてお届けします！！

花の便りもあちこちで聞かれるようになりました。

4月と言えば、もちろん「桜」の季節ですね。桜と言えば、アルシュの事務所の床は、サクラの無垢材を使用しています。無垢材にも種類があり、種類ごとに風合いや特徴も変わってきます。チェリー材は、材面が柔らかくて穏やかな木目が印象的です。年月が経つと色と艶が深まり、その美しさを増していきます。時間を重ねるごとに、じっくり楽しめるのが無垢材の魅力のひとつではないでしょうか。アルシュの床の、チェリー材も3年目。そろそろいい感じになってきています(*^_^*)無垢材に興味をお持ちの方は、ぜひ一度アルシュの事務所までお越しくださいませ。新年度を迎え、お忙しくなる方もいらっしゃると思いますが、春は出会いの季節。私たちアルシュはもちろん、みなさまにも素敵な出会いがありますように…。

✿アルシュの窓✿

テーマ：桜



アルシュの窓の桜も…とうとう満開になりました～！！



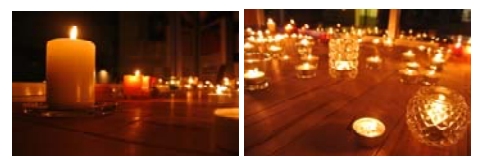
キャンドルナイト レポート ～3.11追悼イベント～

3月11日(月)アルシュでは、3・11への追悼の思いを込めたキャンドルナイトを開催しました。東日本大震災から2年。被災しなかった私たちが『今』そして、これからできることは何でしょうか・・・？

“ちっちゃな会社”にできる、小さな事”

をテーマに、今私たちが出来ることを考えました。今年で、震災発生から3年目に突入します。ただ追悼の思いを込めるだけではなく、時が経つと風化してしまう防災意識をつなぎとめるために、当日はキャンドルを灯すと共に、災害に役立つグッズの販売を行い、皆様への防災意識の再認識を呼びかけました。さらに、グッズの売上を全て東日本大震災の復興の為に義援金として寄付しようと考えました。当日は、わざわざキャンドルをご持参してくれたお客様も

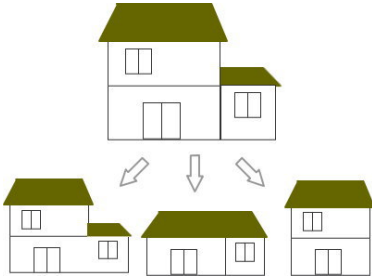
いらっしやいました。お子さま用に防災ホイッスルを購入していかれた男性も印象的でした。小さなことですが皆様の防災意識を高めるキッカケになれたのでは？と、思います。『キレイですね』と言ってくれる方もいて、試行錯誤のイベントでしたが、「無事、成功かな？」と思っております。準備不足で、不安な面もたくさんありましたが、皆様のご協力のおかげで、開催して良かったなと思うことができました。また次回へと繋げていきたいと思っております。ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。



住まいの“減築”ってご存知ですか？

減築リフォーム

家族と暮らしのサイズにあった
家こそ快適な住まいです！



こんな本、見つけました！

『減築リフォームで
ゆうゆう快適生活』
著：西田恭子
アーク出版
¥1,890（税込）



2階建ての一戸建てを平屋に
3LDKのマンションをワン
ルームに！などなど、減築リ
フォームの22例が徹底紹介
されています。ご参考に！！

『リフォームをする』といえば、限られた土地を最大限に広く使いたいという気持ちから、制限ギリギリまで広くしたいという考えを持つ方は多いと思います。

国民生活基礎調査の結果によると全国平均で2人以下世帯の占める割合は、1960年に約28%だったのが、2010年には48%とほぼ倍増、その中でも高齢者のみの世帯数は、全世帯数の約21%を占めています。また、平成20年総務省の調査によると、高齢者夫婦世帯の住まいの平均居室数をみると8割強が4室以上という結果が！しかし、高齢者のご夫婦から子供達が独立し2人で生活するようになった時には「家が広すぎて掃除が大変」や「2階は物置状態」というお話をよく耳にします。つまり、高齢者夫婦で暮らす家の規模は、平屋建てで、LDKと寝室の2～3室というのが理想的な間取りと言えるのではないのでしょうか。

そこで最近リフォームの際に“減築”をするお家が増えてきています。減築とは、文字通り、家の床面積を減らすことで、タイプによっては、住宅の総重量が減ることにより“耐震性能の向上”や“通風性・動線の向上”、その結果“効率的な冷暖房”ができるようになることもあります。また、新築・建替えに比べると、総工事費を抑えることができる場合もあり、解体することで、既存の基礎や軸組を再確認できるとい

うメリットがあります。

よく行われる減築のタイプは・・・

終日、家で過ごす時間が多くなるという方には、リビングの上階の部屋をなくして吹き抜けに！天井が高くなり、広々とした空間になり、明るく快適に過ごせるリビングに変身します。

2階が物置状態になってしまっているという方は、思い切って2階部分を全減築し平屋に！住宅の総重量が減ることで耐震性能が向上し、掃除の手間が少なくなり、階段の昇り降りがなくなることで、より安全な生活が過ごせます。

北側にある部屋が暗い・風が通らない・使わない部屋があるという方は、中庭を作ってみませんか？中庭を儲けるとそこに面する部屋は通風性も良くなり、採光もできるようになり、家のどこから眺めても奥行き感があり、床面積が少なくなったのに、広がり感は増大します。小割りの複数部屋をまとめて1つの大空間に！これも減築の一種です。総面積は変わらないのに、今まで以上に広く感じられます。子供家族や大勢の友人を招いて、楽しく過ごすことが大好きという方には、オススメです！！リフォームとは、住まう家を、建替えずにさらに住みやすくするためのものです。ライフスタイルに合わせてこそ快適な住まいといえるのではないのでしょうか。

キャンドルの灯りの不思議な魅力

一酸化炭素中毒に注意！



IKEAのキャンドルや
キャンドルホルダーは種
類も多く、お手頃価格！
数が欲しい方にはオス
メですよ～(*^_^*)♪

先日アルシュでは、キャンドルナイトを開催しました。キャンドルの灯りって、なんだか不思議な魅力を感じませんか？

一時期、「1/fゆらぎ」という言葉が流行りました。そもそも、1/fゆらぎとはなぜか心が安らぐ…という自然界に存在するリズムのことを言います。例えば、人の心拍の間隔・星の瞬き・電車の揺れ、そしてロウソクの炎の揺れ方などが挙げられます。これらが人体に与える効果は科学的には、実証されていないことがほとんどでした。しかし近年、キャンドルの灯りは、雰囲気だけではなく、科学的に人をリラックスさせる効果があることが実証されているようなのです。例えば、キャンドルのない会食と、キャンドルを灯した状態の会食で会食前から会食後までのイライラ度を調べた実験では、キャンドルを灯した状態の会

食の方が、イライラ度が明らかに下降したというデータも挙がっています。

こんなデータがあるなら、ぜひ住空間にも取り入れていきたいですね。では、キャンドルを使って効果的な癒し空間を作るには、どのようにすれば良いのでしょうか。これも、科学的に実証されたデータがあり『キャンドルの灯り+白熱灯の間接照明』という組み合わせが、1番リラックス効果をもたらしてくれるそうです♪なんとなく普通のキャンドルだとリラックス効果が薄そうと思っていましたが、この結果を見ると、アロマキャンドルの香りが苦手…なんて方でもリラックス効果が期待できそうですよね！

ベガサス・キャンドル株式会社
キャンドルの不思議なチカラプロジェクト
<https://www.pegasuscandle.com/>

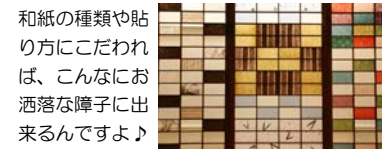
先人達の知恵 障子の世界も奥が深い！！

今回は障子についてのお話を…。障子の歴史は古く、平安時代に襖から派生してできたものだと言われています。今では障子のある家を見ることは少ないかと思いますが、障子以外にも言えることですが、どうも和の部材というのは、現在普及している新しい部材に比べると、汚れやすく、手入れに手間がかかる・洋風化が進んだ日本の住宅には合わなくなってきているという理由などから敬遠されがちのようです。しかし、先月号でご紹介した引戸のように、最近では障子の良さも見直されているようです。本来、障子を始めとする和の部材たちは、夏は高温多湿、冬は低温乾燥という日本の風土に合わせて考えられた、とても優秀な部材なのです。まずは、通気性・吸音性・保温性に優れています。更に、軽くて取り外しが可能という点もあげられます。そして効果的な採光も期待できます。和紙の光の透過率は50%程度だそうで、直射日光を半分遮り、半分を取り入れるということ

が可能です。また夜間には室内の照明が和紙に反射して照明効果を高めてくれます。これはカーテンやブラインドには真似できない美しい空間演出の効果です。まさに先人の知恵がたくさん詰まっていますね！また視覚的・デザイン的な視点で考えるときに、障子はカーテンやブラインドと違い障子そのものの形による美しさがあげられるのではないのでしょうか。一口に障子といっても、組子による種類や形状による種類など、多くの種類があります。シンプルなものから職人さんにオーダーして作るオリジナルのものまで、デザインは無量大とも言えるのではっ？！和紙の張替えが面倒という方もいらっしゃいますが、障子の張替えもデメリットばかりではありません。個人的には「年末は家族みんなで障子の張替え！」なんて素敵だなあ～と思うのですが……。みなさまのご家庭でも、障子を検討されてみては如何でしょうか？



飾り障子は人気の障子のひとつ。昭和56年に内閣総理大臣賞を受賞した組子細工職人の横田栄一氏の作品。30年経った今でも褪せることのない美しさです。



和紙の種類や貼り方にこだわれば、こんなにお洒落な障子に出来るんですよ♪



アルシュの施工例。一部がガラスで障子が上げ下げできるタイプの雪見障子という種類を採用。こんなモダンなデザインならフローリングとの相性も◎です！

賢い家づくりのタイミングは・・・？

増税前の今年（2013年）は住宅購入の駆け込み需要が増えると言われています。各種調査でも、消費税増税前に購入しておきたいもののトップに『住宅』がランクインしているようです。税率は、2014年春に8%、2015年秋には10%へ引き上げが決定しています。単純に考えると、建物の本体価格が2000万円の場合、税率が現在の5%なら100万円、10%なら200万円の消費税を払わなければなり

ません。現在の5%と、10%まで増税時の差は100万円にもなってしまいます。**増税前・増税後どちらが得か…？**ということに関しては色んな説がありますが、増税のタイミングにつられ、慌てて住宅購入なんてことは避けたい所です。一生に一度の家づくり。時間をかけて検討を重ねて欲しいと思います。この1年は、マイホーム購入について検討する良い機会かもしれませんね。

今後、上昇するローン金利の動向も要チェックです！



木の意外な強さ

木材とコンクリートと鉄骨を上からかける力（圧縮力）で比較すると、どれが一番強いと思いますか？10センチ角の部材で比較した場合、杉の木材が約6トンの重さを支えるのに対してコンクリートは7トン、鉄骨の塊は20トンの重さに耐えられます。あかまつ・べいまつなどは、7.5トンの重さにも耐えられるとか…。木材は意外と強いんですね！！しかし、現実にはコンクリートと比べ、耐久性や耐火性、そしてコンクリートのような太い柱になる材料が無いので、マンションなどはコンクリートで作られています。

しかし、コンクリートがなかった時代にも正倉院や五重塔に見られるような高層の木造建築も建てられています。かの姫路城の建物の高さは31.5メートル！！これは、今で言う10階建てのビルに相当する高さですが、木材で作られています。つまり木造の建物でも、適切な施工を行えば充分強い建物を作ることが可能ということになります。なんとカナダでは、木造30階建てのビル建築が計画されているとか！その試作品(?)とも言える木造9階建て、高さ30メートルのマンションが、イギリスのロンドンに建築されているそうです。

姫路城



築城400年以上。一部修復は行われましたが基本の構造体や建物の内部は当初のままです。

几帳面ってどんな面？ ～建築用語から生まれた言葉～

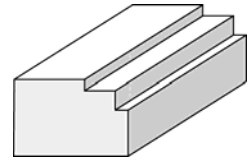
普段、当たり前のように使っている言葉の意味は解っていても語源や由来までは知らないことよくありますよね。一つの漢字に読み方が何通りもあるように、言葉にも多くの多面性があります。例えば“**几帳面**”という言葉。普通は『あの人は、本当に几帳面だ。』と、いう感じで使います。ご存じの方は少ないと思いますが、建築用語にも几帳面という言葉があります。これは、木材の細工の形の事を指しています。昔、室内で間仕切りや風除けに使われる家具のことを「几帳」と言いました。その几帳を支える細い柱は、表面を削って角を丸くし、角そのものは残すようにして、両側に段を付けた形になっていました。このような面取りの形を几帳面と言い、几帳面の様な細かい装飾は、正確な技術が必要だったことから、物事を正確に行う様子を“几帳面”というようになったと言われています。また、「わずか」や「ちょっと」という意味で使われる、“束の間”という言葉

も、建築用語の束（つか）という短い柱が語源になっていると言われてます。このように、建築用語が由来となっている言葉は意外と多いようなのです。他にも、「優れていて欠点がない」や「満足」といった意味で使われる“**結構**”という言葉。『結構なお店で…。』という使われ方をしますね。これも建築用語が語源という説があります。結構とは、元々は建物の組立て具合を褒める時に使う言葉でした。建物の構築が素晴らしいことを褒める時に、『見事な結構だ。』という風に使っていたのですが、だんだん省略され、結構という言葉だけで「素晴らしい」という意味になったそうなのです。もちろん、ひとつの言葉に対して、いくつもの由来や語源の説があり、どれが正しいかは定かではないものが多いです。しかし建築（住宅）というのは、やっぱり昔から人々の生活の為の基本中の基本。私達の生活の中から言葉が生まれたのも納得です。

昔は、この「几帳」で部屋を仕切っていました。



几帳の柱には、このような形の細工が施されていました。この細工の形を『**几帳面**』と言います。



お買い得情報！！！！

今回ご紹介するのは、ダイキンのエアコン、『Eシリーズ・F22NTES-W』お色はホワイト。モデルチェンジによる在庫処分、お買い得になっております。6畳用で、これから新生活をむかえる方にもピッタリのサイズですよ。

メーカーモデルチェンジにより在庫処分！



ダイキン
エアコンEシリーズ
F22NTES-W
定価：オープン価格
6畳用
室内機・室外機
リモコン3点セット

本体価格 **¥40,000.-**
取付工事費（標準配管4mまで）一式 **¥20,000.-**

本体価格＋取付工事費総額 ~~税込¥63,000.-~~ のところ

先着1名様限定で 税込¥60,000.- に！！

住まいのよろず相談室 開設！

アルシュでは、皆様からの住まいに対する素朴な疑問を募集しています！疑問はあるけど『なんとなく人には聞きづらい…』『雑誌やネットで調べてみたけど専門用語ばかりで解りにくい』『これって誰に聞けばいいの…？』なんてことはありませんか？どんな事でも構いません。お気軽に、ご相談ください。ご相談・ご質問はHPのお問い合わせフォーム又は、メールにてお願い致します。

HP：<http://www.arche-arche.net>
mail：arche@blue.ocn.ne.jp



当誌では、ご自宅を公開していただけるお客様も募集しております。ご自宅にお伺いし、写真撮影・インタビューをお願いします。また、楽しくなるようなひらめきや工夫でエコライフを楽しんでいる方のお話なども募集しております。その他、ご質問や取り上げてほしい話題、我が家のペット自慢等々、皆さまから率直なご意見・ご感想もお待ちしています。お気軽にお寄せください。

ご意見・ご感想・お問合せは・・・

株式会社 アルシュ *arche*

〒564-0063 吹田市江坂町1丁目9番17号

TEL：06-6380-5420

FAX：06-6380-5421

Email：arche@blue.ocn.ne.jp

<http://www.arche-arche.net>